

<b>学習の友</b>	<h1>学習会 にゅーす</h1>	静岡県労働者学習 協会静岡支部発行  2022年5月12日 No.116
-------------	-----------------------	--



## 若者の課題に労組も力の発揮を!!

### 青年の仕事と暮らしの実態調査結果を分析

今月号は、特集「青年をとりまく状況と労働運動・社会運動」です。その中で、「若者の生活・労働実態にみる課題・要求—労働総研若者調査を素材に」（静岡県立短大准教授 中澤秀一）を読合わせしました。全労連を中心にした単産・地方組織から回答を得たもの。有効回答1515件20～30歳代が90%です。「仕事の充実感」「仕事上の問題」「仕事上の相談相手」「働き方」「労組加入の動機」「労組の有無」「労組の情報媒体」「生活の満足度」「政治・社会に対する考え方」などの設問の回答をまとめ分析しています。読合せの後の討論では、次のような意見がありました。「政治社会に対する考え方は、否定的なところはありますが、『みんなが力を合わせたら組織や社会を変えることができる』の回答は、たしかに低い年代ほど低いのだが、それでも70%弱で肯定的だった。決して低くない、割と健全・まともと思った。」「『民間の活動に期待をよせている』と指摘をしている。」「青年が政治が自分と遠いものと思うのは、政治家が政府と変わらない者という思いがあるのではないか。」「生活の満足度でも6割が『満足』でも、賃金が低いのは6割と多い。」「街中では商品が溢れかえっているので理屈抜きに『豊かな社会だなあ』と思うわけよ。だけど、高いから買えない。考えにアンバランスがある。」「要求が低いと満足度が上がるという。今の青年は昔に比べると要求が低くなっている。みんなそうだから要求にならない。」「政府の教育方針で、『科学技術発展が社会は良くなっていく。』という考え方が圧倒的

次回学習会は次のとおりです。6月号を持って

お気軽にご参加ください。

日時 6月10日（金） 18：30～

場所 国労小会議室

（注）第二金曜日に変更となりました。



だ。政治を良くするのではない。」「それで、理系を希望する若者が多いのか。」「テレビドラマで、AIが政治を動かしていくというのが予告でやっていた。そういう状況をどう評価するのか予告なので不明だが」「結婚相手もAIで見つけてもらうのが一番良いということもある。」「『組合にかんする情報情報の入手ルール』で一番は、機関紙やニュースレターで評価が『従来からある情報伝達手段が力を発揮している』としているが、これはそういうものしか発信されていないということで、組合の情報発信能力が遅れているということだ。」「青年も組合の情報なんかSNSでは見ないということでもあるのか。』